

I 学校の紹介

学校の沿革

| 元号 | 年 | 沿革 | 児童数 |
|----------|--------------------------------|--|-----|
| 明治 | 12年 | 6月1日 南蒲原郡「新潟校」として、新潟村小字上四ツ屋に創設される。 | |
| | 20年 | 新潟県尋常科新潟小学校と改称する。 | |
| | 25年 | 村立新潟尋常小学校と改称する。 | |
| | 35年 | 村立新潟尋常高等小学校と改称する。 | |
| 大正 昭和 | | 小栗山・片桐の両校と合併し、修業2ケ年の高等科を併設する。 佐藤得太郎氏の土地を借りて校舎を現在の場所に建てる。 | |
| | 40年 | 校地を広げ、校舎を増築する。高等科修業年限を4ケ年とする。 | |
| | 4年 | 校地を広げ、校舎を増築する。 | |
| | 8年 | 「校旗」を樹立する。 | |
| | 15年 | 小林喜一郎氏から二宮尊徳像をいただく。 | |
| | 16年 | 新潟国民学校と改称する。 | |
| | 22年 | 学校教育法の制定により、南蒲原郡新潟村立新潟小学校と改称する。 | 395 |
| | 24年 | 後援会を解散し、PTAを発足する。 | 372 |
| | 25年 | 校歌を制定する。(作詞 佐野良太氏 作曲 今井虎夫氏) | 335 |
| | 29年 | 町村合併により、見附市立新潟小学校と改称する。 | 327 |
| | 31年 | 校舎を建て替える。 | 345 |
| | 32年 | 学校給食が始まる。 | 360 |
| | 35年 | 校舎を増築する。 | 346 |
| | 40年 | プールができる。 | 383 |
| | 42年 | 創立90周年記念式典を行う。 | 251 |
| | 46年 | 鼓笛隊(マーチング)活動を始める。 | 195 |
| | 52年 | 創立百周年の式典を行う。 | 156 |
| | 57年 | 市指定研究、国語の学習指導研究発表会を行う。 | 162 |
| | 58年 | 加茂農林高校分校及び、給食棟を取り壊し、グラウンドを拡張する。 | 169 |
| 60年 | 国旗掲揚塔ができる。 | 171 | |
| 61年 | グラウンド暗渠工事及び、新潟山築営を行う。 | 182 | |
| 平成 | 3年 | 県・市指定研究「家庭科教育研究発表会」を行う。 | 154 |
| | 5年 | 県よい歯の学校優良校として表彰される。 | 149 |
| | 6年 | 学校改築対策協議会を発足する。 | 136 |
| | 7年 | 新校舎が完成。年度末に引っ越し作業を行う。 | 129 |
| | 8年 | 小栗山地区伝統芸能「獅子舞」を教育活動に取り入れる。 体育館が完成する。 | 134 |
| | 9年 | グラウンド改修工事完了。プールが完成する。 新校舎竣工式典・創立120周年記念式典を行う。(6月1日) 記念事業として校庭に遊具が設置される。 学校の森(いこいの森)が作られる。 | 129 |
| 15年 | 圃場整備に伴う新道の開通により、千刈地区の通学路を変更する。 | 139 | |

| | | |
|------|--|-----|
| 16年 | 7・13水害のため臨時休業（1日） PTAが見附養護学校・名木野小学校・四日町小学校でボランティア活動を行う。 10.23中越地震発生に伴い、12日間避難所となる。臨時休業5日 児童の心のケアにカウンセラーが来校する。（2回実施） 三南栄養士会の協力を得て、全学年に「キッズ健康教室」を開催する。 | 123 |
| 17年 | 文部科学省指定「学力向上拠点形成事業」及び、同指定「国語力向上事業」に取り組む。 校内に放課後の児童クラブ（対象1～3年）が開設される。 | 127 |
| 18年 | 国立教育政策研究所指定「評価の工夫改善に関する総合的推進地域事業」にかかわる総括研究官の訪問に伴う公開授業と協議会を行う。 | 120 |
| 19年 | 創立130周年記念事業・記念式典を行う。 | 124 |
| 20年 | 学校保健食育委員会、学校第三者評価委員会、学校支援地域本部設置。 | 127 |
| 21年 | 文部科学省指定「学力向上アクションプラン」に取り組む。学校関係者評価委員会実施 | 124 |
| 22年 | 文部科学省指定の学力向上及び学校評価に取り組む。 「全国こども民俗芸能大会」で5・6年生全員が獅子舞発表（東京） 「日本の祭り・新潟ふるさと2010」で6年生が獅子舞発表（新潟ふるさと村） | 132 |
| 23年 | コミュニティ・スクール推進委員会発足 グラウンドのトラック内を芝生化する。 | 120 |
| 24年 | いこいの森にツリーハウス作製 芝生の拡張 | 109 |
| 25年 | コミュニティ・スクール発足 獅子舞継承活動で、第44回博報賞（日本文化教育理解部門）、文部科学大臣奨励賞受賞 図工クラブが作成した紙芝居「小栗山の獅子舞」が第14回全国手作り紙芝居コンクールで最高賞「加太こうじ賞」、最も感動した紙芝居に贈られる「観客賞」受賞 体育館の耐震工事 | 98 |
| 26年 | 全日本学校関係緑化コンクールで国土緑化推進機構理事長賞を受賞。6月の全国植樹祭で表彰される 新潟日报社及び公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部が主催する「特色ある教育実践校・園」の教育論文で優秀賞を受賞する | 93 |
| 27年 | 獅子舞クラブ発足20周年を祝う会（六年総合的な学習の時間の取組として計画・運営） 獅子舞活動20周年 獅子頭完成記念式典 体育館天井耐震工事 | 89 |
| 28年 | いこいの森20周年を祝う会実施 | 77 |
| 29年 | 新潟県よい歯の学校・園運動において努力校受賞 | 85 |
| 30年 | 日本PTA全国研究大会、新潟大会第4部会アトラクションで獅子舞披露 屋上防水シート修繕工事 | 85 |
| 令和元年 | 創立140周年記念事業・記念式典を行う。 | 88 |
| 2年 | 感染症拡大防止のための2度目の臨時休業（今回は3月）・運動会を10月に実施 | 93 |
| 3年 | 新潟日报社「SDGs未来の大人応援プロジェクト」受賞 | 90 |
| 4年 | | 99 |

学区の概要

- ・市の北東約3kmの田園地帯に位置し、学区は三条市と隣接する。
- ・学区は、点在する10町内の純農村地帯と新しい住宅地（千刈地区）とで形成されている。新住宅地域の児童が年々増加し、全体の約4割となっている。全体には、少子化の傾向が見られ、ここ数年は入学児童が減少する傾向にある。
- ・校区内には、戊辰戦争の鉄砲跡が残る寺や350年以上の歴史を誇る獅子舞を保存する地域がある。（小栗山・不動院）
- ・明訓校を設立した大橋一蔵、のぶ親子、その孫大橋清蔵氏が出身した地域であることから、明治の頃より教育への関心が高い。また、地域や人を大切にしようとする気風が脈々と受け継がれている。地域では、公民館及び地域活性化組織「こみゆにていほつと新潟」が活発に活動し、地域ぐるみで子どもを育てる体制がある。保護者も地域も学校教育への関心が高く、協力的である。

在籍児童数

| 学年 | 男 | 女 | 合計 | 家庭数 |
|----|----|----|----|-----|
| 1年 | 13 | 8 | 21 | 13 |
| 2年 | 8 | 3 | 11 | 5 |
| 3年 | 8 | 8 | 16 | 10 |
| 4年 | 11 | 9 | 20 | 16 |
| 5年 | 6 | 7 | 13 | 13 |
| 6年 | 8 | 10 | 18 | 18 |
| 合計 | 54 | 45 | 99 | 75 |

特色ある教育活動

(1) 「オンリーワン」「ともに」をキーワードに「教えてほめる」教育活動の推進

一人一人によさがある、違っていても当たり前、違っていることに素晴らしさがある、それを自覚させ伸ばしていこうということが「オンリーワン」。これをベースにして、人は一人では生きられない、互いによさに学びながら支え合ってともに生きていこう、ともに伸びていこうということが「ともに」。これを大切にしながら、この2つをしっかりと教え、子ども一人一人のよさを認め、褒め、励まし続ける。このことで自分に自信をもち、仲間のよさを認め、ともに高まろうとする心を育てている。

(2) 地域を知り、地域に学ぶ活動

地域に伝わる小栗山不動院の獅子舞の継承活動及びクラブ活動や各教科、総合的な学習の時間、特別活動において地域の人材を活用した学習を行っている。

(3) 心をつなぐ縦割り活動

清掃や児童会活動、花の栽培活動、ボランティア活動、遊びなどの交流活動などあらゆる機会を利用し全校縦割り班の活動を組織し、仲間作りと豊かな心のつながりを目指している。